

154) 認知症テスト

以下の二つの認知症テストをご紹介します

- * 長谷川式認知症スケール
- * MMSE (Mini-Mental State Examination)

154) 認知症テスト

長谷川式認知症スケール

- * 日本で広く使われている認知症検査
- * 長谷川和夫医師が1974年に初版、1989年に改訂版を
発表
- * 主に65歳以上の高齢者を対象に認知機能低下を簡便
に評価
- * 9項目の質問で満点30点
27点以上で正常
21～26点で軽度認知障害や初期認知症の可能性
20点以下で認知症の可能性があり、精密検査が推奨

改訂 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)

(検査日 年 月 日) (検査者)

氏名	生年月日	年 月 日	年齢	歳
性別 男 / 女	教育年数(年数で記入)	年	検査場所	
D/G		備考		

1	お歳はいくつですか? (2年までの誤差は正解)	0	1
2	今日は何年の何月何日ですか? 何曜日ですか? (年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	年	0 1
		月	0 1
		日	0 1
		曜日	0 1
3	私たちが今いるところはどこですか? (自覚的に出れば2点、5秒おいて家ですか? 病院ですか? 施設ですか? の中から正しい選択をすれば1点)	0	1 2
4	これから言う3つの言葉を覚えてみて下さい。あとでまた聞きますのでよく覚えておいて下さい。 (以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく) 1: a) 桜 b) 猫 c) 電車 2: a) 梅 b) 犬 c) 自動車	0	1
		0	1
		0	1
5	100から7を順番に引いてください。(100-7は?、それからまた7を引くと? と質問する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る)	(33)	0 1
		(36)	0 1
6	私がこれから言う数字を逆から言ってください。(8-8-2、3-8-2-9を逆に言ってもらう。3桁逆順に失敗したら、打ち切る)	2-8-6 9-2-5-3	0 1 0 1
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。 (自覚的に回答が物れば各2点、もし回答が正しい場合以下のヒントを与え正解であれば1点) a) 動物 b) 動物 c) 乗り物	a: 0 1 2 b: 0 1 2 c: 0 1 2	
8	これから9つの品物を見せます。それを隔しますで何があったか言ってください。 (時計、鍵、タバコ、ペン、紙幣など必ず相互に無関係なもの)	0 1 2 3 4 5	
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く 言ってください。(答えた野菜の名前を 右欄に記入する。 途中で詰まり、約10秒間待っても出ない場合 にはそこで打ち切る)	0 1 2 3 4 5	
	0-5=0点、6=1点、7=2点、8=3点 9=4点、10=5点		
			合計得点

*判定不能理由:

【判定方法】HDS-Rの最高得点は30点。20点以下を認知症、21点以上を非認知症としている。HDS-Rによる重症度分類は行わないが、各重症度階層に有意差が認められているので、平均得点を以下の通り参考として示す。
非認知症: 24±4 軽度: 19±5 中等度: 15±4 やや高度: 11±5 非常に高度: 4±3

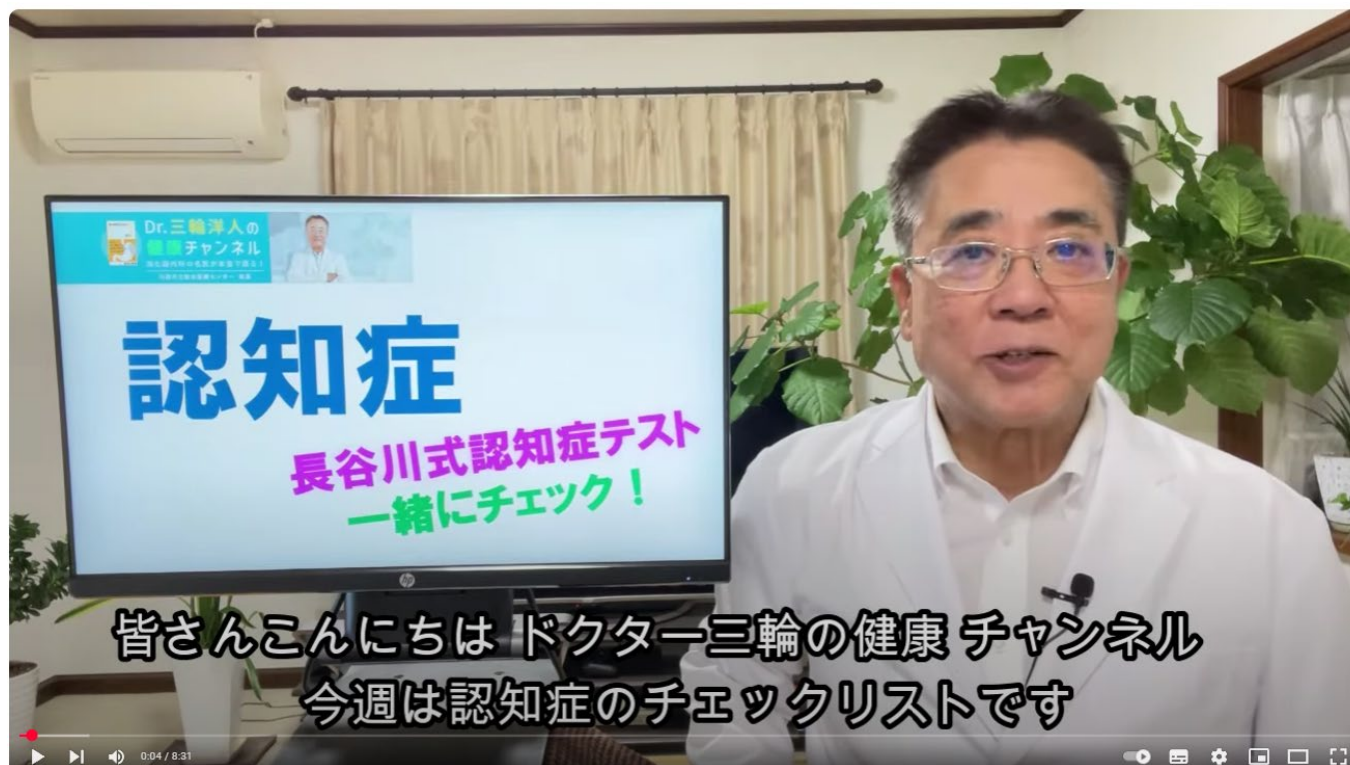


<http://shukatsuweb.net/wp-content/uploads/2025/08/hds-r.pdf>

154) 認知症テスト

長谷川式認知症スケール

YouTube動画



https://youtu.be/ctAsVNvaTJ4?si=dUvDBLI_NFhxxwUiC

154) 認知症テスト

MMSE (Mini-Mental State Examination)

- * 1975年アメリカの精神科医 Dr M. F. Folstein ・ S. E. Folstein ・ P. R. McHughが開発
- * 認知機能を簡便に評価する為の検査
- * 世界中で最も広く使われている検査方法
- * 30点満点
- 24点以上はほぼ正常
- 20～23点は軽度認知障碍の可能性
- 19点以下は認知症の可能性大

様式3 MMSE 検査シート (診療所 → 認知症疾患医療センター)

Mini-Mental State Examination (MMSE)検査シート

(医療機関が記入し、コピーを診療情報提供書に添付してください)

質問内容	正誤	点数
1 (5点) 今年は何年ですか 今の季節は何ですか 今日は何曜日ですか 今日は何月ですか 今日は何日ですか		
2 (5点) ここは何県ですか ここは何市ですか ここは何町ですか ここは何村ですか ここは何地方ですか (例 関東地方)		
3 (3点) 物品名3個 (相互に無関係) 検査者は物の名前を一秒間に一個ずつ言う。その後、被験者に繰り返させる。正答一個につき1点を与える。3例全て言うまで繰り返す。(6回まで) 何回繰り返し出したかを記す。【 回】		
4 (5点) 100から順に7を引く(5回まで)。または「フジノヤマ」を逆順させる		
5 (3点) 3で提供した物品名を再度復唱させる		
6 (2点) (時計を見せながら) これはなんですか (鉛筆を見せながら) これはなんですか		
7 (1点) 次の文章を繰り返しさせる。 「みんなで力をあわせて綱を引きます。」		
8 (3点) (3段階の命令) 「右手にこの紙を持ってください」 「それを半分に折りたたんでください」 「それを私に渡してください」		
9 (1点) (次の文章を読んでその意味に従ってください。) 「目を閉じなさい」		
10 (1点) (何か文章を書いてください。)		
11 (1点) (次の図形を書いてください)		

満点は30。カットオフポイント：23/24

(森 悦郎他：神経疾患患者における日本版 Mini-Mental State テストの有用性。臨床心理学 1985; 1: 2-10)

独立行政法人 国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター
認知症疾患医療センター



<http://shukatsuweb.net/wp-content/uploads/2025/08/MMSE.pdf>

154) 認知症テスト

MMSE (Mini-Mental State Examination)

YouTube動画



<https://youtu.be/sqPslvVYSY?si=CuQRFE4cYxk6RYwW>